

令和4年度 第1回 台東区地域ケア全体会議 議事概要

日時：令和4年7月29日（金） ※新型コロナウイルス感染防止対策のため書面開催

出席者：17名

新田委員 須田委員 加藤委員 木山委員 中富委員 川又委員 山村委員
石井委員 宮本委員 小竹委員 平野委員 鈴木委員 柴田委員 和泉澤委員
武田委員 原嶋委員 高木委員

●台東区地域ケア会議の概要について 資料1

各会議の目的・対象者・参加者についてご確認ください。

●台東区地域ケア会議の開催数について 資料2

台東区の地域ケア会議の構成と令和2年度・3年度の開催数です。

名 称	令和2年度	令和3年度
①地域ケア全体会議	2回	2回
②チームミーティング	0回	0回
③地域ケア包括合同会議	0回	3回
④自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議	0回	11回
⑤地域ケア個別会議	9回	9回
⑥地域ケアネットワーク会議	3回	3回

今回の資料は、基本的には前回（令和3年度 第2回 台東区地域ケア全体会議）ご報告した内容にモニタリング状況を追記したものです。

【委員からの意見と回答】

- ・今後当分の間は、コロナ（COVID-19）の急速な感染拡大が起きても円滑に諸会議を開催できるようにするための体制整備をできる限り進めていく必要があると感じました。
- ・COVID-19 で大変な中だったかと思います。個別会議等しっかりと開催されて素晴らしいと思いました。
- ・チームミーティングが未開催でしたが、地域ケア合同会議で地域課題の絞り込み・原因整理に加え、解決策まで議論されていることが分かりました。
- ・多職種で話し合うことで普段気づかない事に気づいたり、参考になる意見が聞けると思います。
- ・さまざまな社会状況の中での会議の開催、ご苦勞様です。

・地域ケア包括合同会議、個別会議の回数が令和2年度に比べ多くなりました。コロナの落ち着きによるものでしょうか。令和4年度は令和2・3年度を合わせた様子ですが、その中から対策を考えられたことと思います。よろしくお願いいたします。

⇒（回答）令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、会議の開催を控えておりましたが、令和3年度は感染対策を行いながら、再開しております。また、地域ケア個別会議につきましては、地域住民に可能な限り参加していただくことになっておりましたが、専門職のみでの開催も選択できるようにマニュアルを変更いたしました。その結果、以前よりも柔軟に会議を開催できるようになり、回数の増加にもつながりました。

●自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議 実施概要について 資料3

前回の報告からは、No. 5～No. 11のモニタリング状況を追記したものとなっています。

※追記分は網掛けで表示

【状態の改善など】

- ・No. 5：リハビリで運動機能が回復したことで、モチベーションが向上。
新たな目標に向かってリハビリに励んでいらっしゃる。
- ・No. 8：助言を基に減塩にチャレンジ。また歩くための工夫をしたことで、歩行が安定。
- ・No. 10：生きていくために何をすべきか？どうすべきか？をご自身で考えるきっかけとなった。

【状態の維持】

- ・No. 6：会議への参加で変化したことはないが、歩くことは継続。
- ・No. 7：絵画教室やプールでの運動を継続。
- ・No. 9：ブクブクうがいや散歩などを継続。

令和3年度は、試験的にオンライン（Zoom）で開催しましたが、今年度は対面で実施していません。

【委員からの意見と回答】

- ・「〇〇さんのこれから作戦会議」を多く開催出来て事例検討を行えているのは素晴らしいと思いました。
- ・サポーターからの助言、『噛む回数+5回』『おかず+1品』等数値目標があるものは分かりやすかったです。
- ・本人の趣味の読書から散歩コースに図書館を入れるなど第三者の介入の利点が出ていると思います。
- ・各要支援者が専門職助言者（サポーター）からの助言・提案内容を聞き、日常生活において取り

入れ、前向きにとらえて生活をしていて、助言の効果も出ています。

・助言や提案を受け、少しずつ生活への意欲が見られていると思います。適切な助言がうれしいというご本人の感想が素晴らしいですね。

・”自分らしい生活を主体的に営むことができる”を目的とする会議であれば、本人自身が”自分らしい生活”を認識している、できるようにする必要がありますと思いました。

・会議の経過後の利用者モニタリングによると、3か月後、6か月後にいい方へ向かっているとのことで、対応した結果が出ていると思います。当事者（利用者）にとって、皆様関わっていたことによると思います。ありがとうございます。感謝いたします。

・独居であるとすべてが小さく狭くなってしましますが、多くの方の目があることがいかに大切に毎回痛感します。

●地域ケア個別会議 実施概要について 資料4

各地域包括支援センターが主催する、主に困難ケースの支援について関係者や地域住民などと支援方針を検討する『地域ケア個別会議』の実施概要と個別のモニタリング状況です。

新たに報告するものが2件、前回報告したもののうち大きな改善が見られないものが3件、進展・改善したものが1件、対応が終了したものが1件となっています。成年後見制度の利用に繋がったり、地域の見守り体制が構築できたり、会議の成果が見られるケースがある一方、思うように解決に至らないケースもありました。引き続き関係者で課題の解決に向けて支援を続けてまいります。

【委員からの意見と回答】

・困難ケースの事例はとてもしんどくなる内容も多く、医療従事者も積極的に参加して、内容を共有できるとよいと思います。また、このような対応のノウハウを蓄積していくことも有益と思います。

・各地域ケア個別会議の事例を一つ一つ読みますと、いろいろな支援課題があり、それに対応しているようですが、中には身勝手な要求をする要支援者がいるのには驚きました。

・どの件も大変ですね。少しでも改善点を見つけ出し、いこうとする姿勢に頭が下がります。

・会議になる事例の多くが認知症有となっている。認知症のある方が、その他の多様な背景と関連して支援が難しくなっていることがよく分かりました。

・人の数だけそれぞれの「生き方と性分、経済等」課題があり、担当される皆様の精神力、対応力に

感謝します。

・問題が一つでないことが複雑化・長期化してしまう原因であるのを痛感します。ありがとうございますと、頭が下がります。